

文教速報

平成25年10月23日(水曜日) 第7926号

＝隔日刊 月・水・金＝
(但し祭日休刊)
月額6,825円(税込)
◎官庁通信社

官庁通信社

〒101-0041
東京都千代田区
神田須田町2-13-14
総務部
(03)3251-5751
FAX 5753
編集部
(03)3251-5755
FAX 5753
E-mail:bunkyo@kancho-t.com

- ◎ 八大学工学関連研究科長等会議を開催(京大).....2
- ◎ 北大、獣医学研究科附属動物病院の竣工披露式を挙行.....2
- ◎ 信州大繊維学部産学連携施設が香港理工大繊維・アパレル研と協定.....3
- ◎ 岐阜大工学部が県情報技術研と連携覚書を締結.....3
- ◎ 三重大が志摩市、学校法人立命館と協定締結.....3
- ◎ 国立の修士課程は教職大学院へ段階的に移行.....4
- ◎ 教員養成の改革と充実で文科省協力者会議が報告書.....5
- ◎ 大学図書館職員短期研修(西地区)を開催(京大).....6
- ◎ 神戸大病院、グッドデザイン賞を受賞.....7
- ◎ 弘前大で高大連携公開講座「証書授与式」.....9
- ◎ 鹿大就職支援センターが業界研究講座を開催.....10
- ◎ 電脳甲子園、優勝を校長に報告(久留米高専).....11
- ◎ 都城高専がロボコン九州沖縄地区大会でアイデア賞を受賞.....12
- ◎ 文科省25年度第3次工事発注見通し.....(4).....13
- ◎ 学士院、新院長に杉村氏を選定.....17
- ◎ 「元氣いっぱい野外活動☆冒険の秋」を実施.....18
- ◎ 山中次官「こころ、2年が大きな政策の変革期」.....19
- ◎ 文教講演会を挨拶、第33回文部省OB会を開催.....19
- ◎ 全学として地震対策の体制整備を、検査院が東北大に意見表示.....20
- ◎ 国大協「JANU」改め「国立大学」を発行.....20
- ◎ 「今日の話題」人生いきいき百年型社会をめざして.....21
- ◎ 「通知」いじめ防止基本方針の策定について.....23



浜松医科大学では、去る10月4日に「西医体の健闘を称える会」を開催し、教職員及び学生など約150名が出席した。



この会は、今年7月から8月中旬にかけて、西日本の国公立大学医学部及び医科大学44大学が参加して開催された「第65回西日本医科大学学生総会体育大会(代表主管校：九州大学医学部)」で、浜松医大が総合優勝したことを受けて行われた祝勝会。

※ 浜松医大「西医体の健闘を称える会」を開催

浜松医科大学では、去る10月4日に「西医体の健闘を称える会」を開催し、教職員及び学生など約150名が出席した。

この会は、今年7月から8月中旬にかけて、西日本の国公立大学医学部及び医科大学44大学が参加して開催された「第65回西日本医科大学学生総会体育大会(代表主管校：九州大学医学部)」で、浜松医大が総合優勝したことを受けて行われた祝勝会。

浜松医大は一昨年、昨年に引き続きの総合優勝で、今回で3連覇達成となった。称える会では、小出幸夫理事(教育・国際交流担当)が「大会3連覇は素晴らしいこと。部活動とともに学業での活躍も期待する」と挨拶。続いて、山本清二同窓会副会長らの祝辞後、小出理事の発声で乾杯が行われ、小松直人西医体評議員(同大医学科4年)から、優勝した弓道(男子)、弓道(女子)及びサッカーなど、主な競技における成績が紹介された。

2001年から4年間、学内に立てた専用のプレハブで、TGCに測定回路を取り付けて、空から降ってくるミュオンにどう反応するかを昼夜交代で測定した。

このTGCをシユネーブに送り、ミュオン検出器の大きな円盤に貼り付け、無数のケールとつなぐ作業を神戸大から派遣された助教や院生が行った。

その後も神戸大のグループは、ATLAS実験に関わり続けている。TGC検出器によるデータ取得が安定して行えるよう常に改良を加え、ヒッグス粒子などの新現象の信号をミュオン検出器で余さずとらえることに成功した。また、ヒッグス粒子の探索をはじめとしたデータ解析に、研究員、大学院生が今も寸暇を惜しんで取り組んでいる。

神戸大病院、グッドデザイン賞を受賞 視覚障害者向け歯科疾患管理ソフトの実用化で

神戸大学医学部附属病院医療情報部の高岡裕准教授の研究チーム(菅野亜紀氏(病院医療情報部学術研究員)、三浦研爾氏(医科学研究所大学院博士課程4年生))と大阪大学歯学部附属病院院長/障害者歯科治療部の森崎市治郎教授を代表とする阪大歯学部の研究チーム(財間達也氏(歯学部附属病院障害者歯科治療部研究員)、村上旬平氏(同外来医長・助教))は、点字と触図による歯科医療情報提供システム「DENTACT(デンタクト)」の実用化の研究開発に成功し、2013年度グッドデザイン賞を受賞した。

今回の受賞は、視覚障害者向けの歯科疾患管理文書を作成するパソコンソフト「デンタクト」を、2016年の障害者差別解消法公布に先駆けて実用化したことが、高く評価された。

一般的なパソコン環境を使い、安価にシステム化したもので、また、点字と触図から構成された歯科疾患管理文書を簡単に作成できるのが特徴。大学同士の横の連携(学学連携)による研究成果となっている。

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(通称：障害者差別解消法)が今年6月に成立。同法の公布(2016年4月)予定時には、推計約31万人のわが国の視覚障害者に対し、合理的な配慮を行う必要が生じる。

そこで神戸大、阪大の研究チームは、暗眼者に提供する情報と同等の質と量を視覚障害者に提供する「情報保障」を法律の公布に先駆けて実現することで、社会的障壁となってい

る情報格差をいち早く改善するため、研究開発に取り組んできた。神戸大の高岡准教授は自動点字翻訳プログラム「eBraille」を研究開発して、2010年度のグッドデザイン賞を受賞している。

今回、自動点字翻訳のノウハウを有する神戸大医学部附属病院医療情報部のシーズが、阪大歯学部附属病院障害者歯科治療部の歯科疾患管理文書を点字と触図によって提供する「デンタクト」の実用化に結実した。

今後は阪大歯学部附属病院が中心となり、全国の国公立大学病院、障害者歯科医療機関等へ今回開発したシステムの普及を図っていく。また、今後も数智を結集して、医療機関における視覚障害のある患者への合理的配慮が確実に行えるよう、システムのブラッシュアップにも取り組む予定。

グッドデザイン賞は、1957年に通商産業省(現経済産業省)によって創立された「グッドデザイン商品選定制度」(通称：Gマーク制度)を母体とする総合的なデザイン評価・推奨制度。授賞式は10月30日に東京ミッドタウンで行われる。

今回の研究は、総務省戦略的情報通信研究開発推進制度SCOPE(課題番号：101707012)、日本学術振興会科学学術研究費助成事業(学術研究助成基金助成金基盤研究(C)) (課題番号：23593135、24590609、25463299)を得て行われた。